

消防車 白バイ 水陸両用車 建設機械

はたらく車が月寒ドームに集合



発行所
北海道新聞社
郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
© 北海道新聞社 2007

速報

インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp
ご購読申し込みは
0120-464-104

道新スポーツ



消防車などあこがれの車15台を見て回る親子連れ

子育て支援 札幌の経済人ネットワークが企画



建設機械に乗ってごきげんの幼児

消防車やパトカー、建設作業車など町で活躍する車を集めた「さっぽろはたらくくるま2007」が十三日、月寒アルファコートドーム(旧・月寒グリーンドーム)で開かれました。同じ日に子育てイベントなども開かれて、ドーム内外は親子でにぎわいました。市内の企業関係者で作る「札幌なかかができる経済人ネットワーク」が役所や

会社と呼びかけて実行委員会を作り、ボランティアでイベントを開催。参加したのは市消防局、北海道開発局、北電、警察や建設会社などの車十五台。北海道新聞社がイベント会場などで号外新聞を作るマイクロバ



白バイや高所作業車(奥)に乗る親子



消防はしご車でポーズをとる我が子の写真をとる母親

と、目を輝かせて乗り込みました。消防車や白バイの写真をとったり、豪雨や暴風を体験できる開発局の車、箱のようなバケットに乗って電線の上まで上がれる北電の作業車に乗って体験してみる子もいました。この日はドームの中で「キッズワールド2007 スペシャル」が、屋外で農家などが作物を売る「こだわり農産市」も開かれて、夕方までにぎわいました。「さっぽろ はたらくくるま」は十四日も午前十時から開かれます。



札幌市消防局

札幌市消防局は消防職員約1,800人で市民の安全を守ります。火災の予防と火災発生時の対応を知らせる予防業務と消防業務、怪我をした人などへ適切な処置を行う救急業務、自然災害や交通事故など様々な災害現場で人命を守る救助業務があります。年間約800件の火災出動や約7万5千件もの救急出動に対応しています。



北海道開発局

北海道開発局では、地震・水害及び火山噴火などによる様々な災害から皆さんの生活と財産を守るために、いろいろな災害対策用機械を開発・保有し、全道にいつでも出動できるようにしています。写真は、排水ポンプ車による内水排除作業の写真です。夜間作業の支援として、今回展示します照明車も活躍しています。



北海道新聞社

北海道新聞社は催し会場や事件現場に札幌から出向いて、新聞を作るマイクロバス「ふんぶん号」を運行しています。車内に印刷機やパソコン台があり、A4判カラー片面を1時間に千枚、印刷できます。

北海道電力

高所作業車とは、みなさまのお宅へ電気を送るため高い所で作業を行うための車両です。感電しないように絶縁性のバケットが付いていて、その中に作業員が乗って作業をします。配電工事を安全かつ効果的に行う重要な車両です。



日立建機

写真は、道路工事や建物の基礎を掘ったり、土をダンプカーに積みこめ、車のように道路を走ることができる機械です。ほかに狭いところに入れて後ろにも回転する小型機械や通常の運搬、積み込み作業はもちろん、冬に除雪機械として活躍できる機械もあります。

見えた、わかった、しよとの車のしくみ



北海道警察

北海道警察にはパトカーが約1,130台、白バイが約60台あります。パトカーが昭和25年に登場した当時、日本の自動車のほとんどが白色だったので、一目で分るようになるため白色ボディの下半分を黒色に塗りました。白バイは、昭和11年8月に誕生しました。道警の女性白バイ隊「ノースウィングス」は平成7年に生まれました。白バイの活動はマラソンの先導などで活躍し、交通取締り、皇族や外国要人の警備なども行っています。